

プレ国体栃木大会 結果報告

OWS 委員会委員長

小沢浩一

今回「プレ国体栃木大会」は、今年9月の OWS 栃木国体のリハーサル大会ということで開催されました。栃木県水泳連盟をはじめ大会関係者におかれましては、コロナ感染予防対策のため大変ご苦労があったかと思いますが、大会を開催して頂けたことは我々参加者にとってはこの上ない喜びでございます。まずは、大会関係者に感謝したいと思います。本当にありがとうございました。

さて、今回の大会は国体の前哨戦ということもあり、オープン参加で日本代表選手も数名参加しましたが、大会参加人数も少なく（男子9名、女子5名）、開催場所も栃木県市貝町の塩田調整池 OWS 特設会場ということで少し盛り上がりには欠けました。梅雨も早く開け、雨も降っていないことから、試泳では池の水温が高く、大会開催が危ぶまれる状況でした。そのため、急遽前日の監督者会議時に2時間早めた開催（11時スタートから9時スタートに変更）の連絡があり、スケジュールの調整を余儀なくされました。起床、朝食、出発等の時間の確認及びホテルへの朝食の営業時間外の交渉（6時半から開始を6時に早めていただきました）など、前日の準備を滞りなく行え、ホテルをはじめ多くの方の協力の下、スムーズなスケジュール変更をすることができました。当日は朝から気温も高かったのですが（前日に比べ若干気温も低くはありました）、「脱水」「暑さ」「日焼け」等の対策をしっかり行うように選手に指示を出しました。選手の中には、風も波もないコンディションにもかかわらず、うまく泳げていない選手も見受けられました。そのあたりは、国体に向けて再度練習し直す必要があると感じました。日本代表選手は含んでいない順位なので、優勝等はできていますが、まだまだ日本代表選手との差を感じるレース展開でした。

大会概要及び神奈川県勢の結果は以下に記します。

記

日時 2022年7月3日(日) 5キロ 男子 9時スタート・女子 9時2分スタート

場所 栃木県市貝町塩田調整池 OWS 特設会場

神奈川県選手の結果(5キロの結果)

女子

松下彩花(カワサキ SC) 順位無し(トップとの差18秒) *日本代表選手の為、テストスイマー

岩淵立歩(ロコ辻堂) 優勝

男子

小林陸(ロコ辻堂) 優勝

小玉風護(ヨコハマ SC) 準優勝

*オープン参加で日本代表クラスが男子2名女子2名で出場しており、その代表選手との差はまだ感じられました。その一角に食い込めれば、国体で上位を狙えるか、という思いでレースに臨みました。結果的には、男子の小林は最後までいいレースをし、もう少しのところでの実力はついてきましたが、女子はまだ差を感じるレースでした。やはり、トップに食い込むにはもう少し全体のスピードアップ、テクニックの向上が必要だと感じられました。国体に先駆け、強化の一環でこの大会に参加させていただいたことは選手にとって大変大きな経験になったと思います。本当にありがとうございました。今後も国体及び日本選手権に向けてのさらなる強化を続けていきたいと思っています。OWSは経験がものをいう競技なので、今後も練習会や海での練習会を継続していきたいと思っています。以上